

目 次

		ページ
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	日本の標準時	新美幸夫 472
EUREKA 〈研究紹介〉	「大質量星生成領域を水素分子輝線で観てみると」	白田知史 480
天球儀 〈読物〉	現代版「先事館」を求めて	黒田武彦 487
シリーズ	《公開！ウチの研究室(22)》 東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻広域システム科学系	上野宗孝 493
IAU 総会来る！	ただ今 IAU 京都総会開催中…	495
雑報	1996年博士・修士論文タイトル一覧 その1	497
追悼	森下博三氏を悼む	深津正鉄 500
寄贈図書リスト		501
月報だより		501

表紙説明

オリオンブライトバー領域 (a) とオリオン KL 領域 (b) の水素分子輝線強度比 $v = 2-1S(1)/1-0S(1)$ の空間分布。強度比の値をカラーで表している。強度比は青、赤、黄の順で高くなっている。等高線図は 1-0S(1) 輝線の強度分布を表す。図 a の右上と図 b の+印はトラペジウム の位置を示している。

(EUREKA 参照)

(表紙イラストレーション：藤居保子)